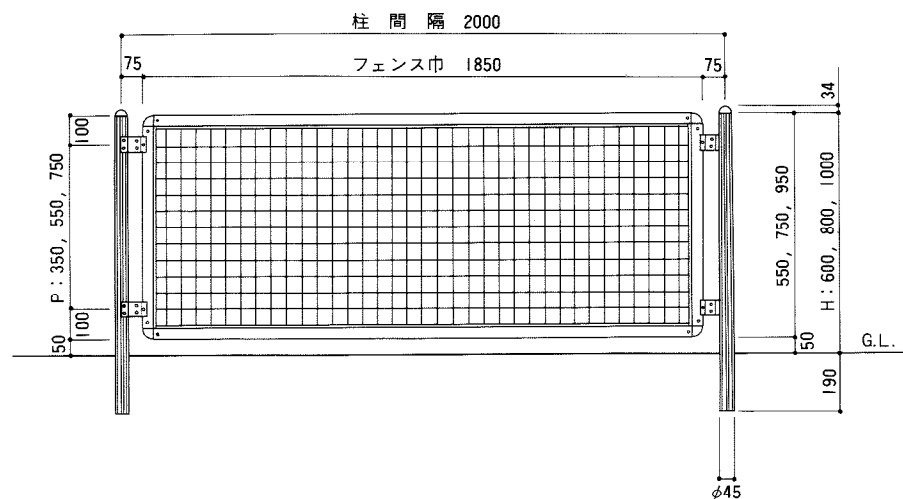
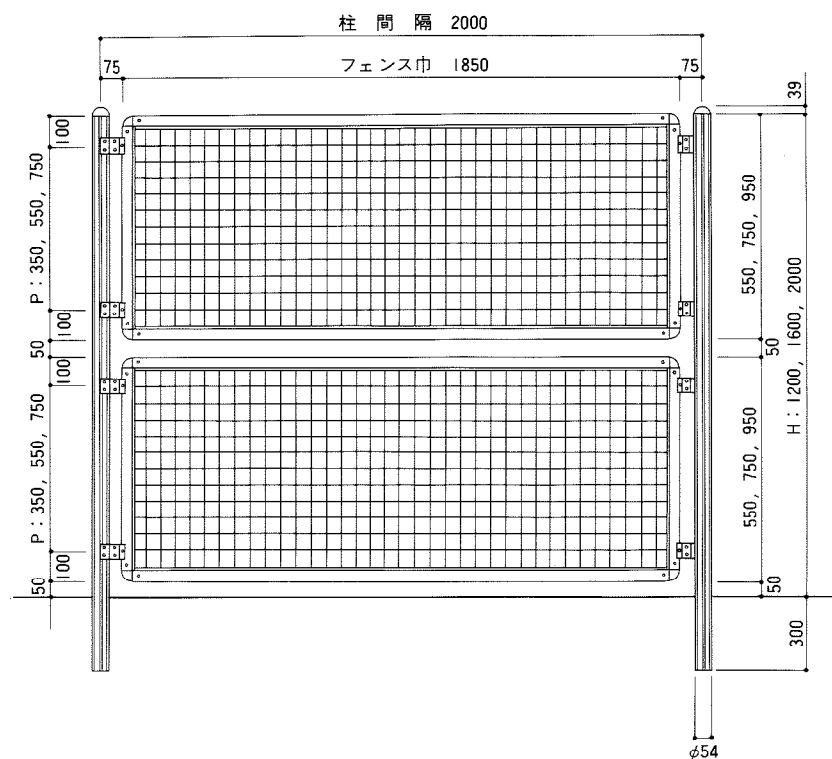


■ 1 段式納まり図

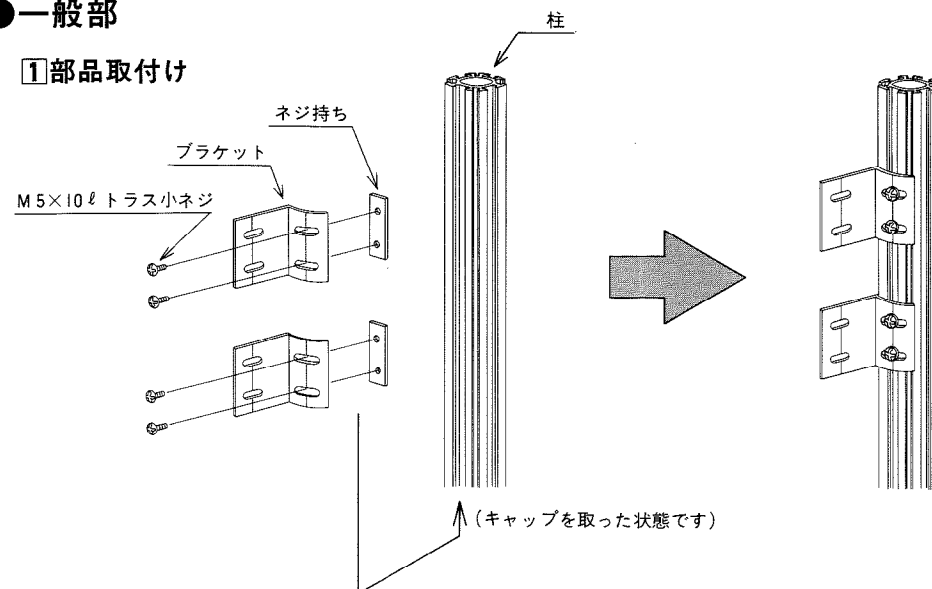


■ 2 段式納まり図

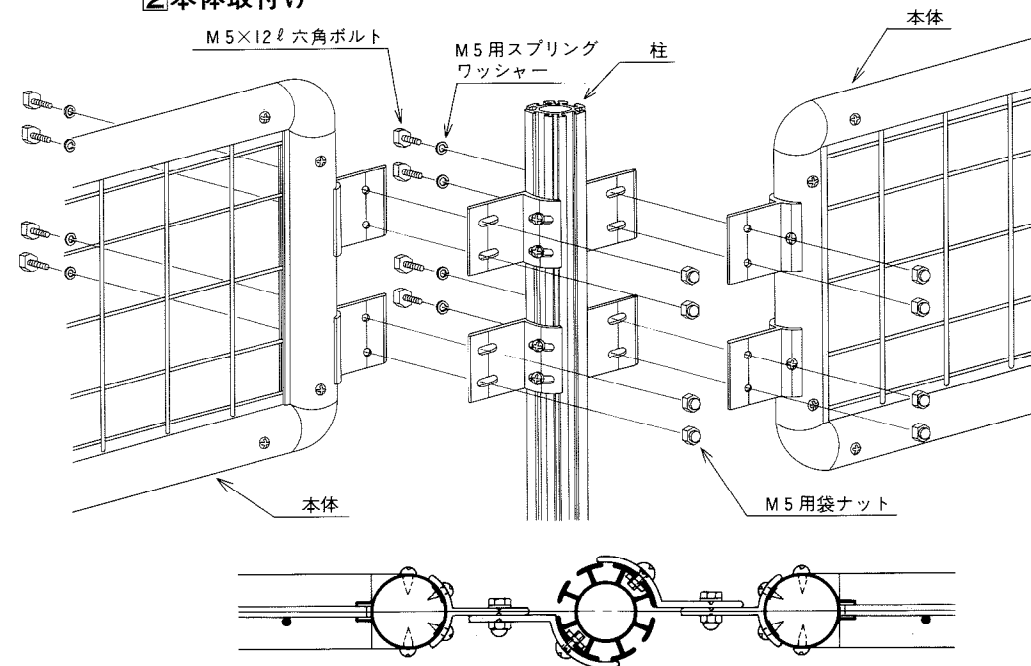


● 一般部

① 部品取付け



② 本体取付け



● 直線部のブラケット取付けは左図の様にして下さい。又、取付けの溝を変える事により $180^\circ \pm 70^\circ$ の角度に対応出来ます。

■ 取付け方法

● 一般部

① 部品取付け

- 柱間の距離は、柱中心から中心まで2000mmです。
- ブラケットとネジ持ちをビス (M5×10ℓ) で仮組みして下さい。
- 柱の溝にネジ持ちを下からスライドさせて取り付けます。

② 本体取付け

- フェンス本体と柱のブラケットを六角ボルト (M5×12ℓ)、スプリングワッシャー、袋ナットで組立ています。(2段の時も同様に組んで下さい。)
- 1 スパンを組立てましたら、順次フェンスと柱を同じ要領で組立ています。
- フェンス全体を組立てた後、フェンスの通りを確認し、柱をモルタルで固定して下さい。(柱の溝まで十分にモルタルがゆきわたる様注意して下さい。)

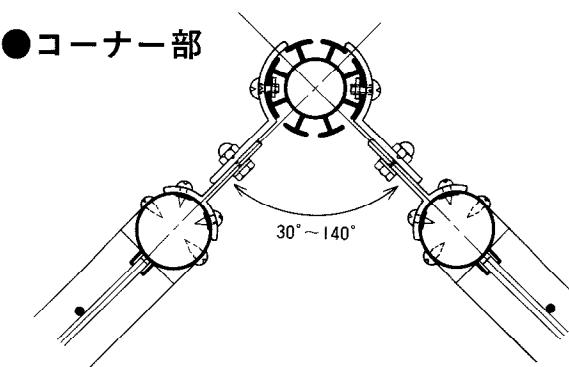
● コーナー部

- 鋭角 30° まで角度対応できます。(ブラケットの向きに注意して下さい。)

● 傾斜地納まりについて

- H=600、800のサイズの本体を夫々H=800、1000用の間柱を用いて施工すると図の様な傾斜地に対応できます。又、2段間柱を用いても様々な敷地に対応できます。

● コーナー部



■ 注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意して下さい。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用して下さい。
- ②モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
- ③モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意して下さい。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意して下さい。

■ 傾斜地納まり図 (参考)

